

第1学年 生活科 指導案

本時 (10/11)

(1) ねらい

発見した冬特有の自然や遊びの特徴に気付き、「ふゆのすてき」についてのクイズをつくることができる。

(2) 使用するアプリ

オクリンク、カメラ機能

(3) 学習指導過程

	○学習活動 ・予想される児童の反応	・留意点 ○評価
導入	<ul style="list-style-type: none"> ○これまでの活動を振り返り、本時のめあてを確認する。 ・校庭や新宿御苑でたくさんの「ふゆのすてき」を見付けました。 ・風車や凧で遊びました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・冬について学習したことを、国語の「これは、なんでしょう」で行ったクイズの要領で発表しようと投げかけ、活動への意欲につなげる。 ・ポスターなどクイズ以外の発表を選んでもよいこととする。
展開	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 10px;"> とくちょうをかながえて、「ふゆのすてきクイズ」をつくろう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ○クイズの答えとなるものを考え、決める。 <ul style="list-style-type: none"> ・新宿御苑で見付けたスイセンの花にします。 ・霜柱にします。 ・凧あげにします。 ○答えにつながるヒントを考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・「これは、なんでしょう」でやってみたように、花の形をヒントにしてみます。 ・霜柱を踏んだ時の音をヒントにしてみます。 ・イチョウの葉は、緑→黄色→なくなったことをヒントにしてみます。 ・風車の羽を同じ向きにひねったら回ったことをヒントにします。 ○ペアで問題を出し合ってみる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ヒントの順番を変えた方がいいと思います。 ・最後に写真を見せるといいと思います。 ・そのヒントなら、秋と比べた時のことを付け加えることができると思います。 ○アドバイスし合ったことを生かし、学級のみんなや地域の方に出题できるように準備をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・過去に撮影した写真を見ながら考えるとういことを助言する。 ・活動の見通しがもてるように、手順を確認する。 ・必要な道具（さくせんボード、付箋紙）を準備する。 ・体験、場所、夏や秋との比較などをヒントにするとよいという視点を紹介する。 ・「さくせんボード」にヒントを書いた付箋を貼り、どの順番で言うとういより楽しくなるかを考えるように促す。 ・途中に「ひみつさくせんタイム」を設定し、ペアの友達と情報交換ができるようにする。また、オクリンクのカメラ機能を使い、それぞれの「さくせんボード」を共有し、参考にしてよいこととする。 ○冬特有の自然や遊び特徴を考え、ペアの友達にクイズを出題している。（発言、付箋紙、さくせんボード）
終末	<ul style="list-style-type: none"> ○本時の活動を振り返り、次時の見通しをもつ。 ・「これは、なんでしょう」をもう一度読んで、クイズの出し方を練習しておきましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の活動の見通しをもてるよう、次時にはふれあい交流会でクイズ大会をすることを確認する。

第2学年 生活科 指導案

本時 (13/18)

(1) ねらい

伝えたいことが相手に伝わるかどうかを予想しながら、伝え方を選んで地域の人に伝えるための表現方法（作品）を決めてつくる中で、相手に応じた伝え方があることに気付くことができる。

(2) 使用するアプリ

Teams、カメラ機能

(3) 学習指導過程

	○学習活動 ・ 予想される児童の反応	・ 留意点 ○評価
導入	<p>○これまでの学習を振り返り、本時のめあてを確認する。</p> <p>・「まちのすてき」をどんな方法で伝えたらいいかな。</p>	<p>・ 前時までには調べたことやまちたんけんⅡの記録カードをすぐに見られるようにする。</p> <p>・ Teams の投稿の記録やカメラ機能を使って、まちたんけんⅡの様子を振り返る。</p>
	<p>まちのすてきをつたえるほうほうを 話し合ってみよう。</p>	
展開	<p>○学級全体で、「伝えたいこと」と「伝え方」について話し合う。</p> <p>・ 知らない1年生に発表で伝えたいな。</p> <p>・ 小さい子をもつお母さんに、ポスターで知らせたいな。</p> <p>・ そこを利用するお客さんにパンフレットを配りたいな。</p> <p>・ 家の人にもまちたんけんⅡで調べたことを伝えたいな。</p> <p>○グループで、自分たちが伝えたい「まちのすてき」を伝える相手に会う方法を選ぶ。</p>	<p>・ まずは誰に「まちのすてき」を伝えたいのか、「伝える相手」を確認する。そして、その相手に適した表現方法を考えるようにする。</p> <p>・ 新聞やポスター、パンフレットなど、代表的な伝え方の作品例やその写真を提示できるようにする。</p> <p>・ 誰に何を伝えたいのかを整理し、効果的な表現方法をえらぶことができるように付箋を使って話し合うようにする。</p> <p>○それぞれの伝え方に対して、相手がどう反応しそうかを友達と話しながら、伝える方法を決めている。(発言、行動観察)</p>
終末	<p>○本時のまとめをするとともに、次時の見通しを立てる。</p>	<p>・ 今後の活動の見通しをもてるよう、次時の学習内容を確認する。</p>

第3学年 総合的な学習の時間 指導案

本時 (38/55)

(1) ねらい

インタビューで集めた情報をグループで共有し、地域のお年寄りや子育て支援センターを利用する方々が地域と交流を深めたり、地域に出かけたりしたくなる企画を話し合うことができる。

(2) 使用するアプリ

共有フォルダ、カメラ機能、Teams

(3) 学習指導過程

	○学習活動 ・ 予想される児童の反応	・ 留意点 ○評価
導入	<p>○めあての確認をする。</p> <p>「インタビューで集めた情報から、地域のお年寄りや小さい子供がいる家庭の人がもっと地域に出かけたくなるためには、どのようなことができるでしょうか。」</p> <p>・ 楽しいイベントを開く。</p>	<p>・ インタビューで集めた情報を基に、様々な立場の人が楽しめるような企画を、自分たちの力で作っていくことを意欲付ける。</p>
	<p>鳩森をもっと元気にする企画を考えよう。</p>	
展開	<p>○インタビューで集めた情報を全体で確認し、様々な立場の人の願いを基に考えることを共有する。</p> <p>○前時に書いた、個人の考えた企画の付箋をグループで交流し、座標軸を使って整理する。</p> <p>・ 「はとさんぽ」で、赤ちゃんと一緒に遊ぶ。</p> <p>・ 楽しいお店を開いて、お年寄りや小さい子を一緒に招待する。</p> <p>・ ボッチャを、お年寄りに教えてもらう。</p> <p>・ お年寄りと小さい子のイベントを分ける。</p> <p>○グループの意見を、全体で交流する。</p>	<p>・ インタビューから分かったことや、どのような願いがあると感じたかを振り返りながら、本時の課題に沿って考えられるようにする。</p> <p>・ 共有フォルダやカメラ機能を使って、インタビューの様子を振り返る。</p> <p>・ 様々な年齢層の人が楽しめるイベントや、外出したいと思えるような取り組みなど、様々な角度からアイデアを自由に出せるように促す。</p> <p>・ 座標軸のトピックを「すぐにできる」、「時間がかかる」、「自分たちでできる」、「他の人の助けが必要」に分け、アイデアをグループで分類できるようにする。</p> <p>・ Teams を使って、各グループの座標軸を全体で共有する。</p> <p>○グループで協働的な学びをすることにより、様々な意見の整理・まとめができる。</p>
終末	<p>○今日のまとめの中から、自分たちで実行できそうな企画に向けてグループで話し合う。</p>	<p>・ 自分たちで実行できそうな企画へ意欲をもたせ、次回につなげるようにする。</p>

第4学年 総合的な学習の時間 指導案

本時 (42/55)

(1) ねらい

車いす・白杖体験をして気付いたことを自分のグループや他のグループと共有することで、自分たちが住んでいる地域のバリアフリーについての理解を深める。

(2) 使用するアプリ

オクリンク、Teams

(3) 学習指導過程

	○学習活動 ・予想される児童の反応	・留意点 ○評価
導入	<ul style="list-style-type: none"> ○前時の学習を確認する。 ○本時のめあてを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の学習の様子を電子黒板に映す。
	車いす体験や白杖体験を通して気付いたこと共有しよう。	
展開	<ul style="list-style-type: none"> ○車いすや白杖体験を通して個々に気付いたことをグループで共有し、他のグループに紹介する内容を精選する。 ・道がでこぼこしていて、白杖がうまく動かせない。 ・上り坂のときに車いすを押すのが大変だった。 <p>○他のグループと共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・代々木駅と北参道駅では違いがある。 ・新宿御苑に行ったときに私も意識して見てみよう。 <p>○他のグループの発表を聞いた感想を元のグループで共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北参道駅はエレベーターが多く、車いすの人も利用しやすそうだった。 ・新宿御苑では、自動販売機のボタンが低い位置にあり、車いすの人や高齢者も利用しやすそうだった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前時にタブレット端末のオクリンクにまとめたものを確認しながら話し合う。 ・①代々木駅・車いす、②代々木駅・白杖 ③北参道駅・車いす、④北参道駅・白杖 ⑤新宿御苑・車いす、⑥新宿御苑・白杖 ○グループでの気づきが、障がいのある方の立場に立った内容となっている。 ・精選したものを付箋に書き、マップに貼付する。 ・事前に Teams にフィールドワークで撮った写真を番号付きで添付しておく（付箋との番号を一致させるようにする。）。) ・ワールドカフェ方式をとる。 ・発表者は二人体制をとる。説明をする人と、付箋と連動した写真を、発表を聞く人に見せる人に分ける。 <p>○自分たちが住んでいる地域のバリアフリーについての理解を深めることができる。</p>
終末	<ul style="list-style-type: none"> ○本時の活動を振り返り、次時の見通しをもつ。 ・他のグループがまとめたものをもっと知りたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他のグループとの交流を更に深められるようにする。

第5学年 総合的な学習の時間 指導案

本時 (46/55)

(1) ねらい

ゲストティーチャーからのフィードバックや他グループから受け取ったPMIシートを基に動画の改善点について話し合い、新たな課題を設定する。

(2) 使用するアプリ

Canva、Teams、SharePoint、Excel

(3) 学習指導過程

	○学習活動 ・予想される児童の反応	・留意点 ○評価
導入	<p>○めあての確認をする。 「今日の未来科の時間はどのような学習をしますか？」</p> <p>・前回、動画が完成したので、お互いに見合いたいです。</p>	<p>・児童が自分たちで学習が進めているという意識がもてるように、児童の言葉でめあてを設定する。</p>
動画を互いに見合って、動画の改善点を話し合おう。		
展開	<p>○他グループの動画を見て、PMIシートに記録をする。</p> <p>P ・魅力的な風景が伝わった。 ・話している言葉が聞き取りやすかった。</p> <p>M ・展開が速くて伝わりづらいのもう少しゆっくり見させてほしい。 ・早口で聞き取りづらかった。</p> <p>I ・テロップのタイミングがよくてわかりやすかった。 ・あえて文字を少なくして伝えていたことがよくわかった。</p> <p>○作成したPMIシートを持ち寄り、改善点について話し合う。 ・外国の観光客に向けた動画なので、もう少し日本庭園の写真をゆっくり見せた方がいいと思った。 ・子供たちに向けた動画だから、もう少し簡単な言葉を使った方がいいと思った。</p>	<p>・自分のグループではない動画を見ることで客観的な視点で動画を見られるようにする。</p> <p>・それぞれのグループのテーマを事前に確認しておき、そのテーマに沿って、P（良い点）、M（課題点）、I（おもしろい点、興味を引いた点、自分のグループにいかせそうな点）に分けて、児童が評価をするように声を掛ける。</p> <p>・Canva で作成した動画を Teams で共有し、SharePoint で共有して見合う。</p> <p>・PMIシートはExcelで共同編集する。</p> <p>・PMIの項目を伝え合うだけでなく、そこから改善点を見付ける話し合いを行うように声を掛ける。</p>
終末	<p>○見付けた課題点と改善点について、新たに必要な情報はないか、次時に向けてグループで話し合う。</p>	<p>○動画の改善点について話し合ったことを基に、次時に向けて課題を設定することができる。</p>